

上ノ国町の夜空を彩る 打ち上げ花火

9月3日、内郷の浜から花火が打ち上げられました。

この打ち上げ花火は、北村町内会、大黒山保存会、北村子ども会が企画したもので、滝本北村町内会長に伺ったところ「コロナ禍により地域の祭などが開催できないため、皆さんを元気づけたいとの思いから企画した」とのことです。花火を見物した方からは「とてもきれいだった」との感想が聞かれたほか、町内会長あてに匿名でお礼の手紙が届くなど、打ち上げ花火で皆さんに元気を届けることができたようです。



小中高合同で呼びかけ 交通安全啓発運動

8月27日、大留駐在所前の国道で上ノ国小学校、上ノ国中学校と上ノ国高校の児童生徒19名が合同で交通安全キャンペーンを実施し、国道沿いの歩道から交通安全啓発グッズを手渡ししながら、警察官が停止させた自動車ドライバー一人ひとりに交通安全を呼びかけました。

参加した生徒は「将来、自分が運転するようになった時も、交通安全を意識した運転を心がけたい」と話しており、現在だけではなく、未来へつながる交通安全啓発運動となったようです。



未来の保健師 上ノ国町で実習

8月23日から9月10日の期間、北海道科学大学公衆衛生看護専攻科の保健師を目指す学生5名が実習のため本町を訪れていました。

8月27日、この日は町民の皆さんと一緒に健康づくりセンターで行われた「ばつちり元気教室」に参加しました。

実習に参加した学生に感想を伺ったところ「実際の現場で高齢者の方と関わり、一緒に楽しく運動できたことは学校では体験できない貴重な体験、将来のための良い経験ができた」とのことでした。



湯ノ岱町内会で 卒寿のお祝い

9月20日、コロナ禍の影響で昨年に引き続き各町内会の敬老会が中止となりましたが、湯ノ岱町内会では敬老の日に合わせて『卒寿のお祝い伝達式』が開催され、松葉貞子さん、表光雄さん、結城澄子さんの3名に賞状と記念品が贈られました。

鈴木湯ノ岱町内会長は挨拶の中で「湯ノ岱の半分以上が高齢者となっているが、卒寿を迎えられた先輩方にはこれからも健康で元気に過ごしてほしい」と話され、卒寿を迎えた3名も終始笑顔で和やかな伝達式となりました。